



## 100歳高齢者を訪問してきました

9月15日は老人の日です。同日から9月21日まで老人週間とされ、当所では9月13日、15日、19日、20日に管内で今年度に百歳とられる方29名を訪問し、感謝の念をこめて、内閣総理大臣のお祝い状と記念品の銀杯、そして宮城県知事の祝詞をお届けしました。

訪問当日は、ジョークを言われたり、戦争があった当時や長寿の秘訣を話されたり、暗唱の披露をされたりする方などがおり、周囲の方々の暖かい支援を受け、日頃の生活を楽しんでいる様子も知ることができました。これからもお元気にお過ごしください。



お祝い状を受け取った八木沼さん（前列中央）

## 『救急フェア-2017-』が開催されました

9月9日（土）イオン気仙沼店で『救急フェア-2017-』を開催しました。毎年9月9日は「救急の日」とされており、救急の日を含む前後1週間は救急医療週間（今年度は9月3日～9日）として、全国において救急医療に関する取り組みが展開されています。

本イベントは救急医療への正しい理解と普及啓発を図るため、イオン気仙沼店の協力を得て、関係機関と共催で毎年実施しています。

今年は、気仙沼西高校の生徒2名が1日救急隊長に就任し、消防本部の救急救命士の指導を受けながら、AEDを使用した心配蘇生法などを学びました。また、

ホヤぼーや、みやぎ消太くんも参加し、1日救急隊長とともに救急医療や応急手当の啓発活動、心肺蘇生法の実技講習を実施しました。

そのほか、消防車両等の展示や記念撮影、献血、保健師による健康相談を行い、多くの方々に御参加いただきました。



## コラム その咳、結核かも！？～結核は現代の病気です～

“結核”と聞いて、どんなイメージを持ちますか？「昔の病気」、「お年寄りがかかる病気」といったイメージを持つ人もいます。

結核は結核菌という細菌によって起こる病気です。50年前までは死亡原因の第1位だった結核。実は今でも1日に50人の新しい患者が発生し、5人が命を落としている日本の重大な感染症です。



9月24日～30日は  
結核予防週間です！

結核の初期症状は風邪によく似ています。咳、痰、発熱などの症状が長く続くのが特徴です。また、急な体重減少、食欲低下、体のだるさ、寝汗などの症状もあります。気になる症状が2週間以上続く場合は結核も疑い医療機関を受診しましょう！

結核を予防するには、十分な睡眠・適度な運動・栄養バランスのとれた食生活、たばこを吸わない生活を心がけましょう。また、毎年健診を受けて自分の健康をチェックしましょう。赤ちゃんはBCG接種を受けましょう。早期発見、早期治療が大切です！



# 放浪犬物語 ～愛と絆のバトン～



6月のある雨の日、田んぼの泥に足を取られて動けなくなっている1頭の犬を、小学生の女の子たちが保護してくれました。当所のホームページでお知らせし、1ヶ月近くが過ぎてても元の飼い主は現れません。犬は老齢で体調も悪かったため引き取り手が現れるとも思われず、譲渡対象にすることも躊躇していました。

このまま当所で最後を迎えてしまうのではないかと思われたある日、ホームページでその犬を知った遠方の方から、ぜひ「譲ってほしい」と申し出がありました。犬の体調を説明し、「看取り」になるだろうことも伝えましたが、その方の気持ちは変わりませんでした。

トリマーでもある動物愛護推進員のトリミングとシャンプーにより見違える姿になった犬は、7月24日、新しい名前をもらい、新しい家族の車に乗って、名古屋へと旅立ちました。

みんなの愛と絆のバトンがつながり、小さな命が1つ救われました。



## 難病医療講演会が開催されました！

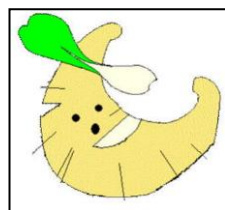
9月10日(日)、当事務所を会場に宮城県難病相談支援センター主催で「難病医療講演会」が開催されました。今回の講演会では全身性エリテマトーデスの患者や家族の方、医療関係者などを対象に、いずみ向日葵クリニック院長の鈴木陽子先生から、最新の知見や治療法などについてお話しいただきました。

講演後の相談・交流会では、『全国膠原病友の会宮城県支部』の支倉敦子さんも交え、講演内容や生活上の注意点等について、参加者と先生とが交流する時間が設けられました。先生の気さくでとてもわかりやすいお話、参加者からは「大変有意義だった」「疑問点を相談できてよかった」などの声が寄せられました。



## この人に聞きたい！

気仙沼保健所  
産廃Gメン 山内 道明さん



本年4月から、環境廃棄物班で産業廃棄物適正処理監視指導員(通称、産廃Gメン)として働かせていただいております。山内です。今年3月31日をもって気仙沼市役所を退職し、第二の職場として着任いたしました。同僚Gメンと共に、気仙沼市、南三陸町の不法投棄をなくすため、パトロールを行っています。

私は、気仙沼生まれです。気仙沼は食に恵まれた地域です。春には山菜、その後カニ、初夏にはホタテ、ホヤ、秋にはサンマ、戻りカツオ、松茸、冬にはカキ、アワビ、様々な食材を楽しむことができます。

余談ですが、知人に猟師がおり、冬には鹿鍋、鴨鍋を食しております。

気仙沼は残念ながら6年前に震災に見舞われましたが、被災された方々が復旧復興に頑張れるよう、日々努めております。今後とも皆様のご協力のもと業務に励んで参りますので、よろしく願いいたします。

## ～10月は3R推進月間です～

宮城県では推進月間に合わせ、県内コンビニ各店の店員の方々による「みやぎ3R推進隊」缶バッジの着用や、ラジオCM放送などを予定しています。

身近にできる取り組みから、3Rの推進にご協力願います。



## 編集後記

気がつけば、日の暮れが早まり、最近は朝晩の空気が冷たく感じられるようになりました。これからは新米やさんま等、秋の味覚が美味しい季節です。引き続き、体調には十分気をつけていただき、秋を満喫しましょう！(次号は11月の発行予定です。)

↓ご感想・ご意見等どしどしお寄せ下さい！↓

担当：気仙沼保健福祉事務所広報委員会

電話：0226-22-6661

メール：fukahire@pref.miyagi.lg.jp